

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	国立大学法人施設整備 (大型特別機械整備費(最先端等))		<b>担当部局庁</b>	研究振興局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成16年度～		<b>担当課室</b>	学術機関課		学術機関課長 澤川和宏		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	IX-1 学術研究の振興				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	国立大学法人法(平成15年法律第112号)第35 条において準用する独立行政法人通則法(平成 11年法律第103号)第46条		<b>関係する計画、 通知等</b>	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 程度以内)</b>	国立大学法人及び大学共同利用機関法人(90機関)が、施設と一体で整備する先端的・大型の研究設備の整備について、大学等全体を見通したうえで安定的・計画的な設備の整備を図り、我が国の学術研究の水準の向上を目指す。							
<b>事業概要 (5行程程度以 内。別添可)</b>	国立大学法人等において、先端的・独創的な研究に必要な不可欠な研究設備のうち、既存の経費(国立大学法人運営費交付金等)や競争的資金では整備が不可能な大型で最先端の研究設備について、国立大学法人等が策定する設備整備のための中長期的計画(設備マスタープラン)を踏まえた上で、国立大学法人等に対し補助金を交付する。 補助率:定額							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	6,417	4,185	4,185	3,765	5,648	
		補正予算	13,928	41,244	0	0		
		繰越し等	▲ 10,542	▲ 3,581	10,713	3,411		
		計	9,802	41,848	14,898	7,176	5,648	
	執行額	9,776	37,453	14,873				
執行率(%)	99.7	89.5	99.8					
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は、我が国の学術研究の水準の向上を目的として国立大学法人等の施設を整備するものであり、成果について定量的な指標を示すことができない。		成果実績		—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	補助事業数		活動実績 (当初見込み)	事業数	92事業	184事業	38事業	— (15事業)
<b>単位当たり コスト</b>	391百万円(平成22年度)		算出根拠	単位当たりコスト=22年度執行額/事業数=14,873百万円/38事業				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	施設整備		3,765百万円	5,648百万円	大規模学術フロンティア促進事業の実施に伴う増1,883百万円			
	計		3,765百万円	5,648百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・交付先の選定にあたっては、各国立大学法人等が策定する設備整備のための中長期計画(設備マスタープラン)における位置付けや、科学技術・学術審議会における専門的見地からの検討等を踏まえ、選定している。</p> <p>・交付先における契約は、原則一般競争入札としている。</p> <p>・交付先における支出状況については、毎年度の額の確定作業において、各大学等から提出される実績報告書(現物の写真を含む)等を精査し、具体的な契約内容や使途を確認している。</p> <p>・国立大学法人等が行う先端的・独創的研究活動に資するため、継続的な設備整備の充実が課題である。また、引き続き、交付先における契約の競争性、公平性、透明性を確保すべく、より一層国立大学法人等への状況確認を進めていく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、国立大学法人等が策定する設備整備のための中長期的計画を踏まえた上で、国立大学法人等の先端的・独創的な研究に不可欠な研究設備の整備に対し補助金を交付する国立大学法人向け長期継続事業である。今回事業の必要性及び効率化の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:この事業は、他の事業に対する公開プロセスでの指摘等を踏まえ、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性の確保に努めるべきである。また、計画的な整備を着実に実施する必要があることから、現状維持とすべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文部科学省  
14,873百万円

対象となる国立大学法人等から提案のあった事業内容を審査の上、支援対象となる設備を選定し、補助金を交付する。

〔公募・補助〕

A. 国立大学法人施設整備事業  
14,873百万円  
大学共同利用機関法人等(全17機関)

〔国立大学法人等における先端的・大型の研究設備の整備〕

(情報・システム機構のケース)

A. 情報・システム機構  
4,655百万円

〔南極昭和基地大型大気レーダーの整備〕

〔一般競争入札等〕

B. 施設整備事業 4,655百万円  
請負業者等  
全83件

〔南極昭和基地大型大気レーダーに係る整備の請負〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

A.情報・システム研究機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備	大型大気レーダー等先端的・大型の研究設備の購入	4,655			
計		4,655	計		0
B.三菱電機(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	直接工事費	3,907			
計		3,907	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	情報・システム研究機構	南極昭和基地大型大気レーダーの整備	4,655	—	—
2	自然科学研究機構	アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計等の整備	2,073	—	—
3	東北大学	800MHz核磁気共鳴装置等の整備	1,493	—	—
4	京都大学	高度マイクロ波電力伝送用解析システム等の整備	1,483	—	—
5	高エネルギー加速器 研究機構	低エミッタンスビーム開発用関連設備等の整備	1,149	—	—
6	東京大学	軟X線レーザー電子分光システム等の整備	1,139	—	—
7	群馬大学	重粒子線照射高度化設備治療ポートの整備	750	—	—
8	筑波大学	カーボンニュートラル対応エネルギーシステム開発実験・実証システム 等の整備	674	—	—
9	名古屋大学	900MHz磁気遮蔽型超伝導核磁気共鳴吸収 (NMR) 装置等の整備	667	—	—
10	北海道大学	超高精度電子ビーム露光システムの整備	190	—	—

※補助事業

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱電機(株)	南極昭和基地大気レーダーに係る整備の請負	3,907	1	99.1
2	クリエート・デザイン(株)	南極昭和基地大気レーダーに係る整備の請負	455	1	99.2
3	日本コムシス(株)	南極昭和基地大気レーダーに係る整備の請負	53	1	93.5
4	(株)関電工	南極昭和基地大気レーダーに係る整備の請負	33	1	99.1
5	(株)ワイ・エス・シー	南極昭和基地大気レーダーに係る整備の請負	25	2	76.4
6	東西工業(株)	南極昭和基地大気レーダーに係る整備の請負	21	1	95.3
7	ポエック(株)	南極昭和基地大気レーダーに係る整備の請負	15	随意契約	—
8	北越工業(株)	南極昭和基地大気レーダーに係る整備の請負	15	1	99.5
9	(株)大西熱学	南極昭和基地大気レーダーに係る整備の請負	14	1	99.8
10	創原エンジニアリング(株)	南極昭和基地大気レーダーに係る整備の請負	12	2	85.8